

今回のテーマは

でんせんせいこうはん

『伝染性紅斑』

(りんご病)

です。



仙台市管内で増加しています。石巻保健所管内の定点医療機関からの報告はありませんが、今後管内でも流行する可能性がありますのでご注意ください。

主な症状

- 小学校や児童館などの学童に流行することが多い感染症で、1回かかると2回目の感染はありません。
- 大人が発症すると子どもより重症化します。
- 両頬に境界がはっきりした発疹（赤いリンゴのような）が現れ、続いて体や腕・足にも網目状の発疹が出現します。
- 発疹は7～10日で消失し自然に回復します。
発疹が現れる2～3日前に微熱や風邪症状が現れる場合があります、この頃にウイルス排出量が最も多くなります。

原因と感染経路

- 伝染性紅斑にかかった人の唾液、鼻の粘液などに含まれる「ヒトパルボウイルス」が原因です。
- 感染した人の咳からの飛沫を吸い込んだり（飛沫感染）、手についたウイルスを自分の口や鼻の粘膜に運ぶ（接触感染）などにより感染します。

潜伏期

約10日～20日

石巻保健所オリジナルキャラクター



予防のポイント

- 咳が出る人は、咳エチケットを心がけましょう！ 「てあらいおん」
- 外から帰った後、食事の前、トイレの後などに手洗いをしましょう！
- 予防接種(ワクチン)はありませんので、日頃からこれらをしっかり行いましょう。

2018年11月 9日 発行

石巻保健所疾病対策班 電話：0225-95-1430